



魅力アップ・地域活性化の取り組みを実施します。

バスタ新宿は全国39都府県300都市を連絡する高速バスが発着し、平成28年4月の開業後、約1年間で累計利用者数が1,000万人を突破するなど、多くの方々に利用して頂いています。

このためバスタ新宿の魅力アップを図り、より良い利用環境を構築すること、また、地域の活性化が図られる取り組みを実施します。

<検討・実施内容の例>

- 大学機関等と連携したバスタ新宿の魅力アップ
- バスタ新宿と地方とのつながりを強化支援
- 地方と連携した地場製品の普及、消費拡大等

<今後のスケジュール>

○平成29年12月26日 【第1弾】

帝京大学*と連携し、高速バスを利用した旅行の魅力アップとして、乗車記念、みやげ用にペーパーバスケット（お菓子入り）を商品化

※ 帝京大学 経済学部 大下 茂教授 ゼミ研究

「バスタ新宿をより便利に地方を元気にするプロジェクト」をテーマに事業展開を研究中

→ 今後、大学などと連携し、様々な取り組みを実施予定



ペーパーバスケット



帝京大学ゼミ生による議論の様子

バスタ新宿をより便利に地方を元気にするプロジェクト (乗車記念 ペーパーバスケット 編)

1. バスタ新宿の利用状況

- ・開業後約1年間で、累計利用者数約1,000万人突破
(H28.4開業、平均約2.8万人/日、最大4.1万人/日)
- ・コンビニ設置等の待合環境の改善も進行中
- ・今後も更なる利便性向上が必要
(周辺に土産物屋が無く、改善の余地もあり)
- ・多くの訪日外国人観光客、若い女性をターゲットに
観光等を通じた新たな地域との連携も必要

高速バス利用者	累計	H29.4.14:1,000万人 ⇒ H29.7.31現在:約1,315万人
	平均	約2.8万人/日 (高速バス集約完了後(H28.7.1~))
	最大	約4.1万人/日 (H29.5.3(GW):40,859人/日 H29.8.13(お盆):41,140人/日)
便数	方面別 ランキング	1位:河口湖<約98万人> 2位:大阪<約88万人> 3位:箱根<約78万人> (H28.4.4~H29.5.31)
	平均	約1,470便/日 (高速バス集約完了後(H28.7.1~))
	最大	1,720便/日 (H29.5.6(GW))

※国土交通省データ

2. バスタ新宿からはじまる新しい取り組みの提案

- ・バスタ新宿から地方を元気にというテーマをゼミ研究
- ・高速バスの利用促進が地方への来訪者の増加を促し、
地方を活性化するプランを具体化
- ・ゆっくり、ゆったり、しかも安く移動できる高速バスを
利用した「ばす旅」を提唱
- ・「ばす旅」の記念として、お菓子入りのペーパーバスケット
を企画し、商品化へ



3. ばす旅の魅力をも高める企画「ペーパーバスケット」

<コンセプト>

- ・旅気分を高めるようなパッケージ
- ・これまでにないデザイン
- ・地方版(ご当地版)への応用の可能性を考慮



外観



中身



帝京大学ゼミ生による議論の様子

※商品はバスタ新宿内「ファミリーマート」で販売
(限定5千個、500円/個(税抜き))

4. 期待される効果

この企画をきっかけに大都市と地方をつなぐ「ばす旅」の取り組みが進展し、



地方への来訪者の増加と交流が活発化されることを期待